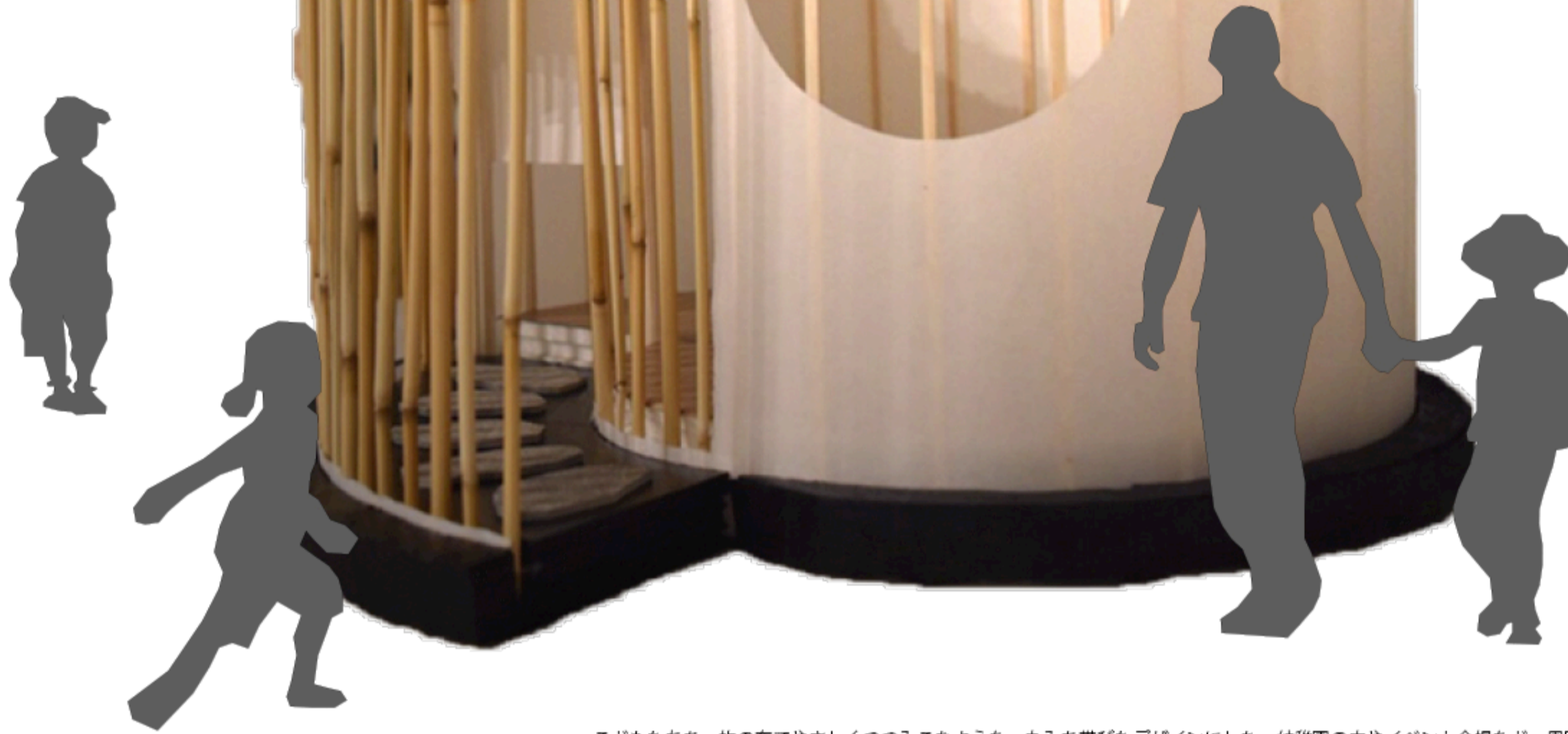


つつむ。

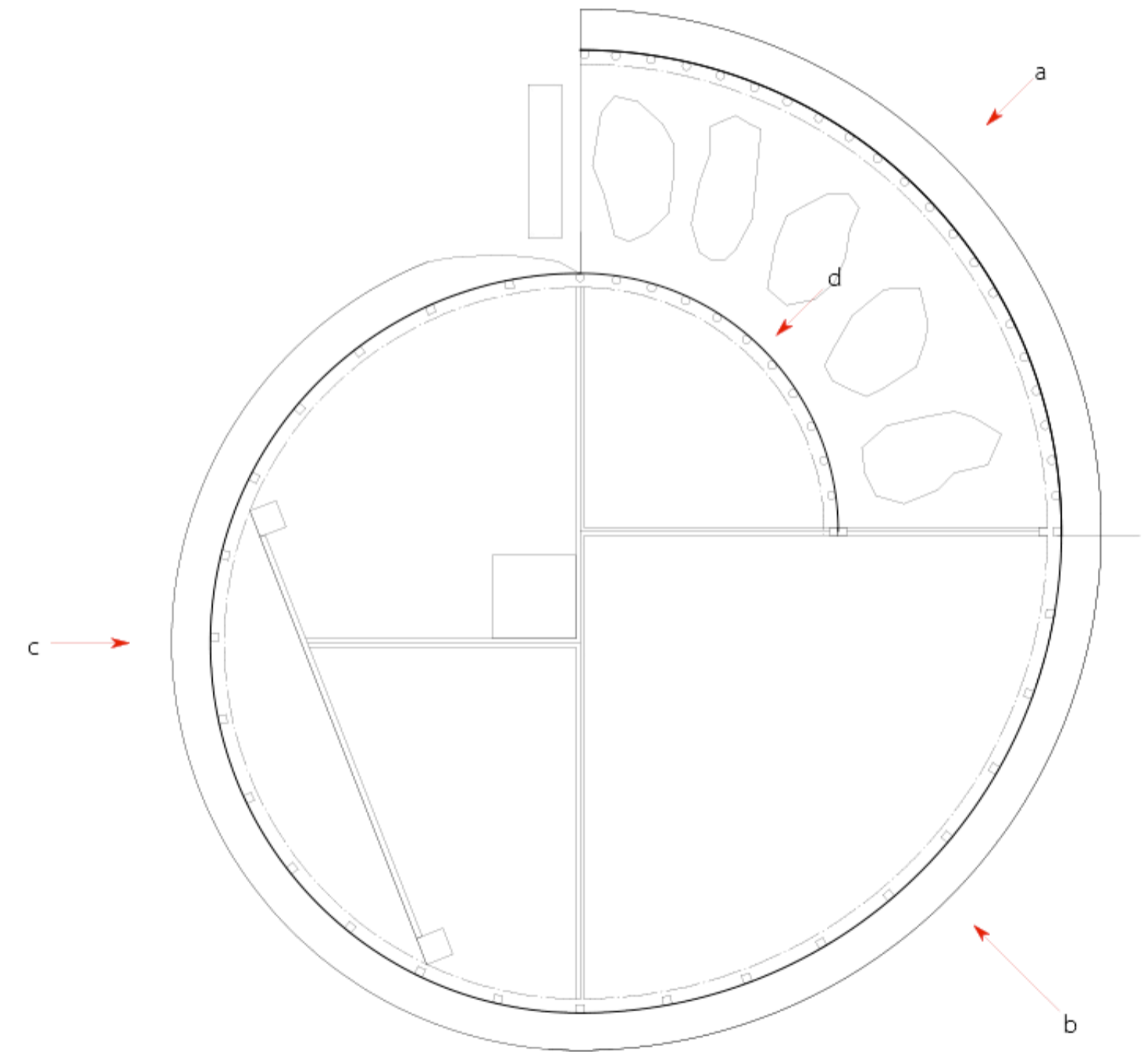
現在、茶道の文化を学ぶ機会が減ってきているという現状に対し、もっと気軽にどこでも楽しめる園児・幼児向けの移動式茶室を提案する。



壁を通すレールにライトを設置し、角材の間から光を通す。昼間と夜で異なる光の様子を楽しめる。



平面図 (縮尺 1/20)



内部外部仕上げ表

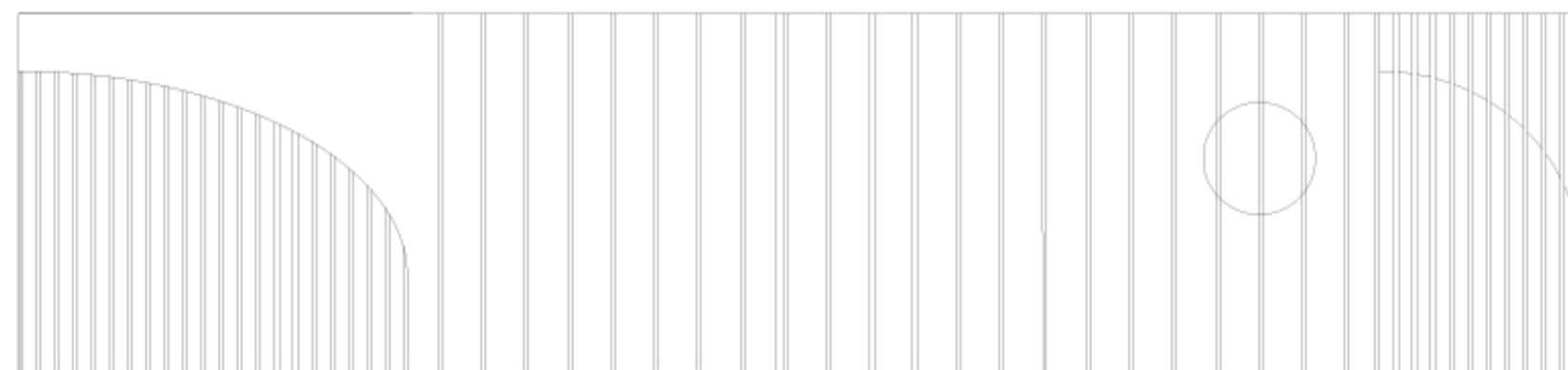
壁	透透性のある不織布と以下の材料を接着したもの 内部：集成材 30×30 露地部分：竹材(白竹) 直径 30
床	内部：丸畳 1/4 [r=900]×1 [r=1700]×1 [r=1300]×2 露地部分：下地 LY タイル貼(ストーン 黒) 飛び石 LY タイル貼(ストーン 灰色)
床の張	床畳 畳 床柱 ケヤキ
フレーム	強化プラスチック

子どもたちを一枚の布でやさしくつつみこむような、丸みを帯びたデザインにした。幼稚園の中やイベント会場など、周囲の環境どこに設置しても茶室の雰囲気を楽しんでもらえるよう、茶室内に左右に竹が並ぶ露地のような空間を設置した。小さい床面積でありながら、この露地から湾曲した内部空間へと繋がるという構成にすることで、奥にある「非日常」へとつながる様子を演出した。露地で不織布が左下がることにより視覚的に高さを徐々に小さくしていき、また、入り口をにじり口のように小さくすることで中に入った時にとても開放感が感じられるようにした。

様々な場所に移動、設営しやすいように、壁を取り外せるようになっている。この壁は不織布と30mm角の集成材によって構成されていて、見た目としては障子を意識した。強く変形しやすい不織布と、軽くて丈夫な集成材による、合理的な仮設壁材である。またこの壁材は自由な形に変形できてある程度の強度があるということで、災害時などに応急仮設住宅を作る際などにも応用できる。木材の新しい用途の普及に繋がるのではないかと私たちは考える。



展開図[壁を一枚に広げた図] (縮尺 1/50)



立面図4面 (縮尺 1/50)

